

いつまでアメリカ言いなり!?

国民も国会も無視して「ブシユウ」忠誠

多国籍軍への自衛隊参加NO!



「大量破壊兵器」を口実としたイラク戦争の行き詰まりと破綻は明白。イラクに軍隊を送った三十六カ国(国連加盟国一九カ国のわずか5分の1)の中からも、スペインをはじめ撤兵する国が続出し、米英は孤立を深めています。

それなのに、開戦前からこの無法な侵略戦争を支持した小泉内閣と自民・公明両党は、目に余るアメリカの横暴に目をつぶり、「戦争はしない」という憲法にも、「戦闘地域には行かない」という「イラク派兵法」にさえ違反して、自衛隊の派兵を続けています。さらに憲法違反を重ねて「多国籍軍」に自衛隊を参加させようとしているのです。「多国籍軍」「占領軍」の看板を架け替えるだけ、実際は米軍があくまで指揮権を握ることをアメリカは明言しています。

無責任な政府・与党

無法な占領と殺戮に対するイラク国民の怒りと抵抗は広がり、「自衛隊派兵」を契機に、日本の外交官や民間ジャーナリストの犠牲まで出ているのに、政府・与党の無責任な情けない姿勢はどうでしょう。

日本国民の生命や安全より日米同盟が大事、まず「ブッシュ大統領への忠誠」・・・その根っこにあるのは、日米安保条約(今日六月二十三日は、発効四十四年の日)です。

軍事同盟をなくすのが世界の流れ。もう、日米安保を見直す時です。

有事法制から憲法改悪・・・日本を「戦争する国」につくり変える自民・公明・民主党に、こんどの参院選できっぱりとした審判を下そうではありませんか!

政府は「自衛隊はイラクの復興支援のため」と言っていますが・・・

人道支援 NGOの法がケタ違いに役にたっています

	費用	給水の対象人員	1日あたりの給水能力
国際NGO	1億円	10万人	1000~2000トン
自衛隊	404億円	1万6千人	80トン

(住民1日あたりの給水の基準は、NGOが10~20%、自衛隊が5%です)イラクでは、上下水道の補習こそが必要ですが、自衛隊にはその能力はありません

安保破棄大阪実行委員会

06-6763-3833 04.6.23